

# 青木村子どもはつらつネットワーク通信

令和5年度 第218号 1月1日

青木村子どもはつらつネットワーク事務局発行

## 子育てフォーラム青木 2023

「社会力を育てる」をテーマに

家庭・学校・地域で考える

保小中一貫教育委員会事務局 大久保 礼子（青木中学校教頭）

青木村の保小中一貫教育も19年目。新型コロナウイルス感染症の影響で集まって開催できずにいた「子育てフォーラム青木」の復活の年になりました。そんな中で、保小中一貫教育の活動では、今まで以上に委員一人一人がアイデアを出し合い、できることに丁寧に取り組み、活動を積み上げてきています。

青木村の教育目標は「心豊かでたくましい子どもの育成～社会力(生きる力)を育てる～」です。そこで11月25日(土)「社会力を育てる」をテーマに『子育てフォーラム青木2023』を開催しました。当日は、講演会や分科会(小中連携委員会、特別支援教育委員会)、活動報告(5か条委員会)展示発表(保小連携委員会、子育て委員会)を行いました。多くの皆様と子育てについて意見を交換する場となり、家庭・学校・地域で子育てについて考えるよい機会となりました。

以下、当日の様子について、お知らせします。

### 1 開会行事について

開会行事では、5か条委員会より昨年から今年にかけて取り組んできた5か条の見直しの活動を発表してもらいました。昨年度保育園、小学生、中学生の保護者と小中学生にとったアンケートから、今年度「あおきっ子教育ポイントの第3条」の改定が行われました。その発表からは、今の「時間の使い方」に対する提案がありました。睡眠時間や、学習時間、特にメディアとの付き合い方の部分は大きく変更されました。(4ページ参照)



### 2 講演会について

子どもとメディア信州の町田祐介さんをお招きし、「子どもとメディアとの関わり方」と題し、ご講演をいただきました。

ドローンを飛ばしたり、映像を見せていただいたり、ときどき話しかけたりしながらの講演会でした





- ・とても内容がたっぷりて実のある素晴らしい講演だったと思いました。スタートからドローンが飛び、会場のみなさんの目と好奇心を釘付けにしたと思います。これからの世代のメディアの発達の大変化、そこに関わるリスクなどとても分かりやすくお話しいただきました。とても興味深い内容でした。
- ・子どもたちが将来社会に出たときには必ず必要とされる ICT 機器の利用。便利ではあるのですが、危険が見えないところにあることがわかりました。もう一度子どもとメディアとの関わり方について話し合いたいと思います。
- ・講演会では身近なメディアとの付き合い方、知らなかったことを学ぶことができました。自分も子育てをしている親としてメディアの使い方を学び上手に使っていけるようにしたいと思いました。子どもたちにもメディアを使う上で約束したり、ルールも話し合っ決めてたいです。
- ・未来社会 society5.0については便利になることで助けられることも多いと思いますが、言葉を出さなくても相手に通じてしまうことなど人間としてどうか…と心配になる部分もあります。いずれにしても、進み広がっていく社会に対応できる『人』に育つための学習が大切だと感じました。(感想より)

### 3 展示発表、映像コーナーについて

1階ロビーには、子育て委員会の「地域へ、人へ、つながっていこう」というテーマで活動した地域の方と子どもたちのメッセージの展示発表がありました。温かな言葉がたくさん並んでいました。また、保小連携委員会は保育園児と小学生の交流の様子を分かりやすくまとめ展示してくれました。それぞれに、保育園、小学校、中学校での地域の方との関わりや交流の様子がよく分かる展示発表でした。

開会行事の前の映像タイムや、1階ロビーの映像コーナーもありました。保育園のみなさんの元気に太鼓を演奏する様子や、小学生の150周年記念音楽会の様子、中学生の文化祭での全校合唱の様子などを見ていただきました。



### 4 分科会について

今年度は2つの分科会（小中連携委員会、特別支援教育委員会）を開催しました。限られた時間ではありましたが、多くの方々の思いやご意見をお聞きする機会となりました。



## 第1分科会

- ・メディアとの付き合い方について改めて考えることができました。気になったらすぐ調べることができる便利な社会になってきていますが、その裏側には危険がたくさん潜んでいるんだと感じました。子どもにももちろん大人もこれから先メディアとの付き合い方を意識していった方がいいなと思いました。
- ・子どもとメディアとの関わり方について保育園で仕事をする中でも、今の子どもたちのスマホやタブレットの利用について気になる様子がありました。使ってはいけないではなく、どんなリスクがあるのか、どう使えば良いのかを大人が知り、伝えていく、学んでいくことが大切だと感じました。(感想より)



## 第2分科会



- ・沓掛教育長の話から1つの姿をいろいろな見方をすることが必要で大切だと改めて知ることができて良かったです。ありがとうございました。
- ・分科会でお話を聞き、その人らしさを大切にという教育長の言葉がとても印象的でした。今後、インクルーシブ教育を推進する中で、様々な課題もあると思いますが、その子の動きなどからその子のことを知ろうという視点を大切に、今後の子育てにもいかしていきたいと思いました。
- ・難しく考えていましたが、『その子らしさ』『その子がいきいきと過ごせるために』と、とてもわかりやすい言葉と事例で講演していただき、良かったです。(感想より)

- ・我が子は高校生ですが、やはり青木村での経験・体験が今でも生きている「宝」となっている気がします。また自分も『これ(青木村での取り組み)が普通』と思っていたことが、とても貴重で重要で『青木村に育てていただいている』ということを改めて感じることができました。今後はそのお手伝いができるように、恩返しができるように、自分のできることをやっていきたいと思いました。貴重な体験をさせていただき感謝してます!!
- ・本日はありがとうございました。正直はじめはそんなに面白いものではないかなと思っていました。しかし、話を聴いてみて参加して良かったと思いました。自分の子どもについての心配は減りませんが、安心した環境で子育てできると思いました。
- ・久しぶりに開催することができて良かったです。内容が濃く、講演会の内容も今にとっても合っているものだったので良かったと思います。保護者の方たちにもっと聴いていただきたかったです。(感想より)

最後に今後も子どもを中心に、保小中が連携をとりながら「ふるさと青木村を愛する子ども」を育てていきたいと考えております。保護者、地域の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

お願いします



## 5か条委員会

### ～「あおきっこ教育ポイント 5か条」 の第3条修正点について～

<保小中一貫教育5か条委員会>

従来の「あおきっこ教育ポイント5か条」の第3条修正点について説明します。

第3条 時間の使い方

①自ら こつこつ 家庭で学習

学年 × 10 分以上で中 3 までに 90 分超え 決まった時間に決まった場所で



②メディアは ルールを決めて

テレビ・ゲーム・ネットは 1 日 90 分以内  
親子で情報モラルを学び インターネットの危険から子どもを守る

スマホは持たせない



今回はこのように改訂しました。

①ぐっすり たっぴり睡眠時間

保育園児は 10 時間、小学生は 9 時間、中学生・高校生は 8 時間  
目と体と脳にしっかり休息を



②自ら こつこつ 家庭で学習

宿題と学年×10 分以上(例:小学 1 年生は 10 分、中学 1 年生は 70 分)  
高生は進路実現へ向けて+α の学習を  
決まった時間に決まった場所で 毎日の習慣で積み重ねる



③メディアと上手につきあって

学習以外の利用は 1 日 60 分以内にして、1 週間に  
1 日は 30 分以内の日 (ショートメディアデー) を家庭で決めよう  
親子いっしょに情報モラルを学び合おう  
「3ない」ルールで身を守る



親に知らせずに「課金しない」「アプリのダウンロードやサイト登録しない」「SNSなどで知らない人と知り合わない」

新たに加わった項目は①の「ぐっすり たっぴり睡眠時間」で、睡眠の大切さも強調しています。理想的な睡眠時間を具体的に入れ、目や脳にも休息をとることも大事に考えました。

昨年、保小中合同研修会で布団製造会社「東洋羽毛」の方の講演がありました。そこでは、『保育園児で 10 時間、小学生で 9 時間、中高生で 8 時間の睡眠が必要である』というお話がありました。睡眠は体を休めるとともに、学習したことを脳に定着させるための大切な時間だということです。塾や習い事などで忙しい日々かと思いますが、睡眠時間をしっかり確保することが、健康面でも学習面でも大切です。

②の「自らこつこつ 家庭で学習」の項目は、小学 1 年生では 10 分、中学 1 年生は 70 分という具体的な時間を明記し、新たに中学・高校生も進路実現へ向けて+α の内容を付け足しました。決まった時間に決まった場所で、毎日の習慣を積むことも入れました。

一番大きく変わった項目は、③の「メディアと上手につきあって」の項目です。従来は「スマホを持たせない」ということを強調していましたが、現在の社会では情報を活



用し、生かす時代にあります。メディアと上手につきあうことをアピールしました。

昨年9月、5か条委員会では、保育園の保護者、小学校4～6年生の児童と保護者、中学校1～3年生の生徒と保護者に、電子メディア利用に関するアンケートを実施しました。

その後、委員会で結果を考察し、今回の改定につなげました。以前「はつらつネットワーク通信」でも提案しましたが、【平日の電子メディア利用時間はどのくらいか】のアンケート結果は以下のようになりました。

①保育園保護者

②小学校保護者（上段）と  
小学校4～6年生児童（下段）

③中学校保護者（上段）と中学校1～3年生生徒（下段）



平日の電子メディア利用時間の結果を見ると、年齢を重ねるごとに利用時間が少しずつ増加しますが、保育園児、小学生、中学生でのグラフの形に大きな相違はありません。特に、小学生と中学生ではほとんど同じでした。電子メディア利用を含めた生活習慣は幼少期に形成され、中学校卒業まであまり変わらないと言えそうです。幼少期の生活習慣作りが大切なのかもしれません。このアンケートの結果を受けて、今回の変更が行われました。

この項目の中で「**学習以外の使用時間は1日60分**」と設定しました。慶應義塾大学中室（なかむろ）准教授の調査によると、メディアの使用時間と学力の相互関係を調べたところ、2時間以上メディアを使用した場合、明らかな学力低下が見られたこと、逆に1時間までは大差が無かったというデータがありました。このデータに基づき、5か条委員会ではメディアの使用時間「1時間」を打ち出しました。

同時に、週に1日は、「ショートメディアデー」を家庭で決めることもお願いしています。学習以外のメディアの使用時間を、週に1日は30分以内の日を決めてほしいです。

現在では、メディアを通じたトラブルも多いです。そういった被害に遭わないためにも、3つの「3ない」ルールも提言しています。親に知らせずに「課金しない」「アプリのダウンロードやサイト登録しない」「SNSなどで知らない人と知り合わない」の3つの「ない」を示すことで、メディアと上手

につきあえると思います。

今回の「あおきっ子教育ポイント 5か条」の改定を受け、子どもたちだけでなく、お家の方にも、協力をお願いしたいです。



**第1条** 一日のスタートをしっかりと進めるために、家族揃って朝飯を食べるとか、ゆっくり朝食がとれるよう、逆算して起きる時間を決めるなど、早寝早起きが実践できるよう取り組んでいきましょう。



**第2条** あいさつについては、まずは「ありがとう」からスタートして、親が見本となり、自分からあいさつできる・そんな家庭をみなさんで目指していきましょう。

**第3条** 家庭内でしっかり約束事を決め、それを紙に書いて、みんなが見える場所に貼るとか、まずはできることからスタートさせましょう。子どもは大人の鏡です。大人の姿を見て、子どもは育ちます。私たち大人自身も、スマホを見る時間を意識し直してみよう。

**第4条** 働き・学ぶでは、親と一緒に手伝いすることからはじめ、できたら感謝の言葉を伝えるなど、今しかできない子どもとの大切な時間をもつよう、心がけていきましょう。

**第5条** 豊かな体験では、休みの日にはなるべく外で一緒に遊んで、大人もストレス発散できる機会を積極的にとりましょう。青木村は、自然に恵まれた素晴らしい地域です。地域の子どもの育てるのは、地域に住む私たち大人です。村の宝物である、子どもたちをみんなで育てていきましょう。



## 保小連携委員会展示発表

### ～小学校と保育園の交流を通して～



#### <保小中一貫教育 保小連携委員会>

保小連携委員会では「運動会や音楽会などの行事に参加し、園児と小学生の交流を行う」、「保育園から小学校への移行を図る」という内容のもと活動してきました。コロナ禍はできずにいた青木村保育園と青木小学校の交流でしたが、今年度は様子を見ながら活動を行うことができました。

#### **6月15日 小学校音楽会リハーサル見学**

初めての小学校訪問という事で、体育館の広さに驚いたり、ちょっぴり緊張気味の子どもたちでした。リハーサル中は1年生が歌う姿や、メロディオンを演奏する姿にくぎ付けでした。小学校からの帰り道「かっこよかったね」「すごかったね」と子どもたち同士感想を話し合っていました。



#### **9月16日 小学校運動会**

晴天のもと小学校運動会が開催され、年長組の子どもたちはかざぐるま拾いに参加しました。「よーいどん！」の合図のあと、自分の好きな色の風車めがけて一生懸命走りました。緊張で泣いてしまう子、悔し涙を流す子もいましたが、沢山のお客さんの応援のおかげで最後まで走りぬくことができました。全員がゴールした後、6年生の誘導で拾った風車を持って校長先生のところまで行進をし、お話を聞きました。



## 10月25日 ハロウィン練り歩き

練り歩きに向けて1人1人衣装を手作りしました。魔女・ドラキュラ・プリンセスなど子どもたちが自分で着たいものを考え、カラーポリ袋を使って服を作ったり、画用紙やリボンを使って飾りつけをしました。



当日は1年生とペアになり、手を繋いで教育委員会・役場を目指して歩きました。最初はお互い緊張して会話がありませんでしたが、徐々に緊張もほぐれ少しずつ会話が聞こえてくるようになりました。「Trick or treat!」とみんな声をあわせ、無事にお菓子をもらうことができました。頂いたお菓子は自宅に持ち帰り、家族に分けたりして食べたそうです!

「小学校ってどんなところだろう?」「どんなお兄さんお姉さんたちがいるんだろう?」と小学校に対して不安を抱くお子さんが多くいますが、今回の交流を通して少しでも安心することができたのではないかと思います。かっこいい姿を沢山見せてくれた1年生。年長組の子どもたちにとって憧れの存在です。



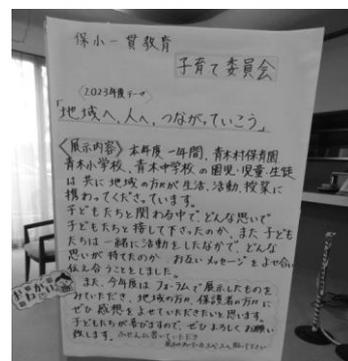
今後の活動としては12月に児童会祭り、1月に小学校体験入学に参加する予定です。年長組と1年生が沢山の交流ができるのも青木村の良さ、素晴らしさだなと感じます。これからも温かい交流ができればいいと思います。

## 子育て委員会展示発表

～地域へ、人へ、つながっていこう～

### 〈保小中一貫教育子育て委員会〉

青木村保育園・青木村小学校・青木村中学校の園児・児童・生徒は、授業、活動や生活の中で地域の方々と関わっています。子どもたちに関わってくださる方々が、どんな思いで接してくださっているか、子どもたちはどのような思いをもったのか、お互いメッセージを寄せ合い伝えあうことをしました。また今年度はフォーラムで展示したものを見ていただき、地域の方々・保護者の方々に感想を貼っていただき、青木村で子どもたちと関わる皆さんと繋がっていただけるようにしました。



保育園では年長児は畑の活動を通して祖父母の皆さんとの関わり、道の駅で種芋の買い物、リフレッシュパークで魚釣り、昆虫資料館見学など地域の方々との交流の様子がありました。年中児・年少児は今年度より地域の小林さんが一緒に活動して下さった畑活動の様子がありました。家庭科の授業で中学生が絵本の読み聞かせの姿もありました。まだ文字



で気持ちをうまく表現できない子どもたちですので、写真中心の展示になりましたが、いい表情がたくさんみられました。コロナが5類になり、色々な方々との関わりが再開され、交流を楽しんでいました。



小学校では2年生は『寺子屋とサッカー教室』で学習ボランティアの方に宿題を見ていただいたり、青木スピリッツの指導をされている小林コーチに体育の時間指導していただいた様子が書かれています。3年生は『社会科体験学習きくらげ』で、きくらげの栽培方法や袋詰めのご感想を寄せていました。実際に水くれ作業の時の暑さの大変さ、グラム数を正確に量るドキドキした体験、実際に育てたキノコを商品としてたく



さんの人の目に留まったことを、関わって下さった居鶴貞美さん、知恵子さんとのやりとりが書かれています。4年生は『義民太鼓』を青木村義民太鼓保存会の皆さんにご指導いただき、9月16日の運動



会で発表したことの様子が書かれています。保存会の会長宮入貞嘉さんに暑い中10回を超えるご指導をいただき、練習で手にマメを作り、足腰が筋肉痛になりながらも伝統を受け継いでいこう、頑張ろうという姿がありました。義民についても村の歴史文化資料館を見学して館長さんから学んでいます。5年生は『米作り体験』田植え・稲刈りの体験をしました。地

域の堀内律男さんから教えていただきながら、総合的な時間に米作りを通して、実際に体験してたくさんのご感想がありました。また5.6年生は春の遠足で夫神山に登る前に、『夫神山のお話』をわたぼうしの会坂井弘子さんに話していただいたことも書かれています。

中学校では7月から9月まで義民太鼓の練習の様子を、たくさんの写真と共に【ありがとう義民】という文字で表現されていました。



〃 歴史のとばりを 切落とす

熱き魂よ たかき功績よ 永遠なれと 〃

気合や力が伝わってくる、文化祭で発表するまでの子どもたちの姿がありました。

今回、子どもたちに関わるたくさんの方々から温かいメッセージをいただき、たくさんの人と繋がっていることが分かりました。ご協力いただいた全ての方々、ありがとうございました。

フォーラムでの展示は終わりましたが、発表会・参観日・懇談会などで保護者のみなさんや地域のみなさんに見ていただけるよう保育園・小学校・中学校で展示しますので、ぜひ感想を貼っていただき、子どもたちと繋がっていく青木村をこれからも続けていきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひいたします。

## 編)集)後)記)

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

今月号から3回に渡り、昨年行われた「子育てフォーラム2023」の内容を特集いたします。来月号では、講演会の内容について詳しくお伝えします。

